



# SSL アプライアンスの SSL 診断ツール

バージョン 1.1.0

初版発行日: 3/1/16

Cisco SSL アプライアンスによって収集された診断パッケージ内の統計情報を解析するには SSL 診断ツールを使用します。このガイドでは、SSL 診断ツールおよびインストールの概要を示します。

[SSL 診断ツールの使用、4 ページ](#)にすべてのコマンドの説明を示しています。ツールとドキュメントは、[cisco.com](http://cisco.com) で入手できます。

このバージョンの SSL 診断ツールは、Blue Coat Reporter とともに使用するために、スペース区切り形式でデータ エクスポートをサポートします。Reporter 用の形式で .csv ファイルを出力するには、コマンドラインで `-r` オプションを使用します。構文情報については `ssldiags.pdf` ドキュメントを参照してください。

Cisco SSL アプライアンス ソフトウェアは、シスコおよびサード パーティ製ソフトウェアのプロバイダーが定めるライセンス契約条件に従います。詳細については、次の項を参照してください。

- [要件、1 ページ](#)
- [SSL 診断ツールのインストール、2 ページ](#)
- [SSL 診断ツールの使用、4 ページ](#)
- [支援が必要な場合、5 ページ](#)

## 要件

- Windows または Linux を実行している x86 または x86-64 のパーソナル コンピュータ。システムは、Python バージョン 2.6.x または 2.7.x を実行する必要があります。Python 3.x はサポートされません。このシステムは、このドキュメントでは「ホスト」システムと呼んでいます。
- SSL 診断ツールを実行する Cisco SSL アプライアンス `ssldiags` の出力ファイル。



## SSL 診断ツールのインストール

SSL 診断ツールは、ホストシステムにインストールする必要がある zip パッケージとして提供されます。パッケージのファイル名は `ssldiags-n.n.n.zip` です。「n.n.n」はパッケージのバージョン番号です。

### Linux 環境でのパッケージのインストール

**ステップ 1** ホストシステムにファイルをコピーします。

**ステップ 2** コマンドラインで次を入力します。

```
unzip ssldiags-n.n.n.zip
cd ssldiags-n.n.n
python setup.py install
```



**ヒント**

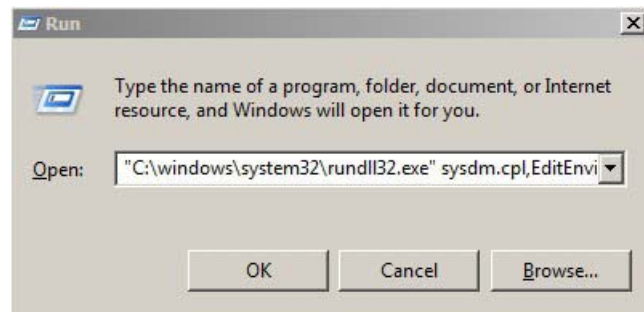
ソフトウェアのインストール権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

### Windows 環境でのパッケージのインストール

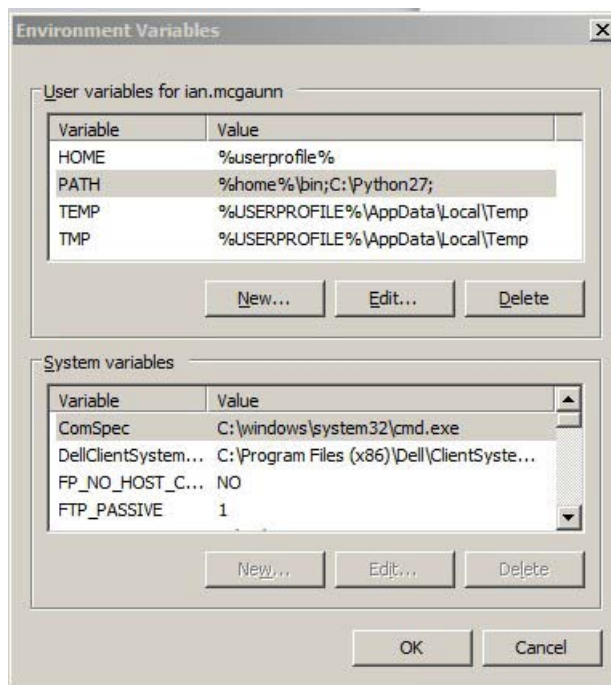
Windows システムの場合、インストールを完了するには追加の手順が必要になります。スクリプトをインストールしたディレクトリをシステムパスに追加します。これを行うには、[Run] ウィンドウを開きます ([Start] をクリックして「run」と入力し、[Enter] をクリック)。

**ステップ 1** [Run] ウィンドウで、次を入力します。

```
C:\windows\system32\rundll32.exe" sysdm.cpl,EditEnvironmentVariables
```



**ステップ 2** [OK] をクリックします。[Environment Variables] ウィンドウが表示されます。

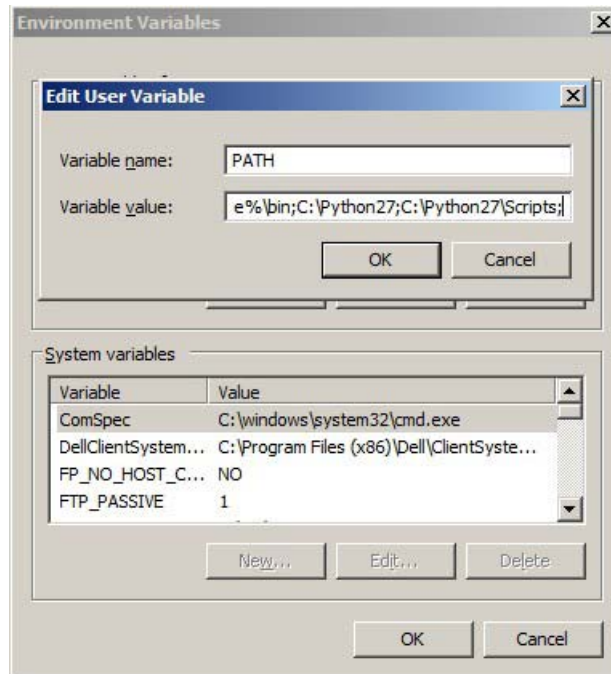


**ステップ 3** [User variables for <user name>] というラベルがある上部のパネルで、[PATH] エントリを選択して [Edit] をクリックします。[Edit User Variable] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [Variable value] フィールドで、解凍したファイルのパスをセミコロンの後に入力します。次に例を示します。



(注) この例では Python 2.7 を使用しています。SSL 診断ツールには、Python 2.6.x または 2.7.x が必要です (Python 3.x はサポートされません)。



ステップ 5 入力内容が正しければ、[OK] をクリックします。[Environment Variables] ウィンドウを閉じます。

## インストールの確認

SSL 診断ツールが正しくインストールされていることを確認するには、コマンド プロンプトを開き、次を入力します。

```
ssldiags.py --version
```

次の内容が表示されます。

```
host:<path>/ssldiags/$ ssldiags.py --version
```

```
Usage: ssldiags.py -i <INPUT DIR> -c <COUNTER NAMES> -p <PREFIX PATH> [-o <OUTPUT PATH>]
```

```
Tool for parsing binary SSLV statistics files into CSV format. Version: n.n.n
```

## SSL 診断ツールの使用

コマンド ラインでは、次のオプションを使用できます。



(注) 履歴ファイルおよびカウンタ名があるディレクトリパスを指定する必要があります。

**使用方法:**

ssldiags.py [options]

オプション	結果
-h, --help	このヘルプメッセージを表示して終了
-i INPUT_DIRECTORY, --input-directory=INPUT_DIRECTORY	統計情報とカウンタ名のファイルが含まれた入力ディレクトリ
-p PREFIX, --prefix=PREFIX	ファイルプレフィックス:履歴ファイルは<prefix>.<num>.bin
-c COUNTER_NAMES, --counter-names=COUNTER_NAMES	カウンタ名のファイル名(パスではない)、 例:<prefix>_counter_names_<timestamp>.csv
-o OUTPUT, --output=OUTPUT	出力ファイル。指定しない場合は、stdout が使用される
-v, --version	バージョン番号を表示して終了
-r, --reporter	Blue Coat Reporter 形式の Export Output ファイル。(スペース区切り)

## 支援が必要な場合

### シスコ サポート

ドキュメントの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス リクエストの提出、および Cisco SSL アプライアンスの詳細情報については、  
<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> の『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。

『What's New in Cisco Product Documentation』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

ご質問がある場合、またはシスコ SSL アプライアンスに関するサポートが必要な場合は、シスコサポートにお問い合わせください。

- シスコ サポート サイト : <http://support.cisco.com/>。
- シスコ サポート ([tac@cisco.com](mailto:tac@cisco.com)) に電子メールをお送りください。
- シスコ サポートの電話番号: 1-408-526-7209 または 1-800-553-2447。

